

～「LRRI ニュース」2021 年 10 月号～

●エナジー&エコロジー・防災セミナー(第18回)「宅地の地盤災害リスクを考える」を実施します

特定非営利活動法人NPOブルーアース・(一社)地盤品質判定士会神奈川支部・(一社)地域国土強靱化研究所の三機関の主催で標記のセミナーを開催します。7月に起きた“熱海土石流”の話題も取り上げます。詳細は添付PDFをご覧ください。

●「役員だより」10月号を掲載しました

10月号は小浪理事が担当しました。ご高覧下さい。11月号は安原代表理事、12月号は霜越監事が担当する予定です。

●LRRI の名前で初めて研究発表を行いました

第41回地震工学研究発表会(土木学会主催,9月16日)において,研究成果を発表しました(原稿は添付PDF)。発表者は池澤雄之介様(茨城大学)でした。

・著者:池澤雄之介・榎本忠夫(以上,茨城大学)・安原一哉(LRRI)・半根隆巳・小暮直親・田中富智夫・北相模剛(以上,(株)JSP)

・発表論文名:フォームサポート工法により補強された橋梁の1G場振動台実験による耐震性評価

●賛助会員が特許を取得されました

賛助会員のみらい建設工業(株)様が茨城大学様と共同で申請していました「地盤改良方法及び改良地盤構造」(通称,ハイブリットCSP工法:砕石杭および砕石とジオシンセティックを融合した技術)が特許に認定されました。概要は以下の通りです。

・特許番号:特許第6944164号

・発明の名称:地盤改良方法及び改良地盤構造

・出願日:令和2(2020)年4月1日

・登録日:令和3(2021)年9月14日

・特許権者:国立大学法人茨城大学

みらい建設工業株式会社

・発明者:小林 薫

安原一哉

足立雅樹

これを契機に,この技術を含めた「砕石利用地盤改良・地盤補強研究会」の準備会(勉強会)を発足させ,まずは,情報交換の場をもうけさせていただく予定です。

●**日刊建設工業新聞社からインタビューを戴きました**

安原代表理事が10月21日同社の鴨志田隆之企画部長様からインタビューを受けました。内容は、①地域国土強靱化研究所の成り立ち、②地域の災害リスクなど過去の経験、将来予測に基づく地域の守り方のあり方、③どのようにして地域と意識共有していくかの課題でした。内容は12月の同紙の“国土強靱化特集ページ”に掲載予定です。